

**M I N A T O ビジョン・タウンフォーラム
防災・危機管理グループ（第5グループ）**

会議録（第1回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年8月15日（金）18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階 914会議室

メンバ：13名（欠席者2名）

【内訳】対面参加12名、オンライン参加1名

事務局：企画課グループ担当3名、委託事業者2名（うちファシリテーター1名、グラフィックレコーダー1名）

■次第

（開会）

1 事務局挨拶及び委嘱式欠席者挨拶

2 タウンフォーラムの進め方について

3 検討内容のまとめ方について

4 検討テーマに関する議論

・守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

・港区の誇るべき特徴・長所

・港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

5 事務局より連絡

（閉会）

■配付資料

資料1 第1回グループ会議進行資料

資料2 タウンフォーラムの進め方

資料3 検討内容のまとめ方

資料4 M I N A T O ビジョンの策定に向けた「みんなの声」

資料5 オンラインツールの活用について

資料6 第2回グループ会議検討内容

資料7 タウンフォーラムの各グループで取り入れたい要素

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第1回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 事務局及び欠席者照会

事務局職員及び委嘱式欠席者が紹介された。

2 タウンフォーラムの進め方について

事務局より、第1回から第3回のグループ会議及び報告会の概要について説明が行われた。

3 検討内容のまとめ方

事務局より、第1回及び第2回グループ会議の検討経過がグラフィックレコーディングとなることや、報告会では、港区全体の将来像が1つ、分野別の将来像がグループごとに7つのたたき台が出来ることを説明が行われた。

また、5月以降に実施したアンケート結果等をまとめた「MINATOビジョンの策定に向けた「みんなの声」」を将来像の検討に活用して欲しいと要望があった。

4 検討テーマに関する議論

ファシリテーターより、グループワークの進め方、ねらいについて説明が行われた。ラウンドごとの意見を付箋に書き出して意見を発表しながら、模造紙上で意見を分類分けした。

(1) 第1ラウンド 守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

(主な意見等)

参加者：多様な文化があり、寺社が多い。

参加者：「日本最初の公立小学校」など、「日本最初の●●」が多い。

参加者：都市に古墳がある点。

参加者：大使館が多く立地している。

参加者：芝公園や東京タワーがある点。

参加者：観光地もあれば住宅地・勤務地もありまちの多様性がある。

参加者：学問・研究・文化の拠点となったものがそのまま残っている。(例：慶應義塾)

参加者：古きもの・新しいものの共存を今後も進めていくことが理想である。

(2) 第2ラウンド 港区の誇るべき特徴・長所

参加者：教育、保育の制度が充実しており、待機児童がいない。

参加者：寛容性と多様性があり、地区ごとで特性がある。

参加者：安全なまちであり、緑が多い。

参加者：歴史的・文化的な資源が多い。

参加者：大きな公園・商店街があり、暮らしやすい。

参加者：日本人と外国人の共存がうまくできている。

参加者：情報発信だけではなく、情報集積も盛んである。

参加者：本社機能が区内に多く、税収も多い。

(3) 第3ラウンド 港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

参加者：史跡・寺社・商店街（港区の個性）などが多く残っている。

参加者：高齢者・弱い立場にある方のサポートが充実している。

参加者：空が広いまち、文化の違う人々と共存できるまち。

参加者：景観が良い都市、多様性が残っているまち。

参加者：人間力が高く、柔軟・寛容なまち。

参加者：利便性が高く、経済的にも心の豊かなまち。

参加者：投票率・区政への参画が高いまち。

5 事務局より連絡

事務局より、会議終了後の意見交換の手段として、オンラインツールの活用についての案内があった。また、第2回グループ会議の検討内容及び各グループで取り入れたい要素について説明が行われ、次回会議の日程が確認された。

（閉会）

リーダーが閉会を告げ、終了。

以上